きっと、もっと、すてきな夢を咲かせます。

人間らしさをキーワードに、いま私たちの生活や社会には

本当の豊かさやゆとりが求められています。

日立は、どこまでも人にやさしい先端技術を通じて

そんな暮らしの夢をひとつひとつ花開かせ

豊かな実りをお届けします。

株式会社 日立製作所

巻頭言

日本ハンドボールを強固な高い山に

財団法人日本ハンドボール協会
専務理事
中澤　重夫

日本協会創設60周年を迎えて、営々として今日のハンドボール界を築きあげたハンドボール関係諸先輩のご努力とご苦労にあらためて深く敬意を表するものであります。

この60周年という節目に、世界選手権熊本大会を誘致し、大成功と国内外から高く評価され閉幕できたことは、これからの日本のハンドボールの大きな躍進にもつながることだけに大きな喜びとなったといえます。

今や世界のハンドボールは国際連盟に加盟する国が１４０を越えようとしています。それぞれの国にはそれぞれのハンドボールのあり方があることは当然のことといえましょう。日本には日本としてのハンドボールのあり方があります。

ハンドボールの普及・発展・強化を捉えるのに、よくピラミッドにたとえられます。確かに三角形の底辺が広ければ、形の上からは安定しているようにも見え、頂点も高くなっていくように見えるでしょう。しかしこの考え方は、おおかた平面を意図しているので、平面には高さがありません。

私は日本のハンドボールをイメージするとき、広い裾野でそびえ立つ富士山を思い起こします。しかし砂上の楼閣という言葉があるように、一つ一つが小さく何の結び付きもないようでは、土台の締め緊まった高さに成りません。この一つ一つは、ハンドボールに関わる人々すべてであります。この一人ひとりが、有機的に強固に連繋すれば、少々裾野が広くても山は強固に高くなることが出来ると信じています。

この富士山を単純化して見ると、強化、普及、拡大の軸が垂直の年齢軸を中心としての三角錐がイメージされます。強化はもちろんナショナルチームを頂点とする『世界への挑戦』限界への挑戦などがコンセプトとなるグループです。普及とは、プレイヤー、レフェリーなどの育成などがコンセプトになります。

拡大はハンドボールのそのものの拡大を指し、ビーチハンドボール、車椅子ハンドボール、さらにはハンドボールの観衆、マスコミを含め、ハンドボールに関わる人々を全て取り込んでいこうとするものです。

このように考えてくると、60周年を経た日本ハンドボール協会のあり方も、組織的にも当然見直しの時期に来ているのではないでしょうか。それぞれの立場で、それぞれの考え方があるとは思います。シドニー、ギリシャに向け、また大阪に向け、高い山を作るために忌憚のない意見を闘わしていければならないと思うところです。それが世にいう一〇〇年の計につながることではないでしょうか。

協会だより

10月（第2回）常務理事会

日　時　10月18日(土)10：30～16：00
場　所　南青山会館　会議室
出席者　中澤専務理事、常務理事7名、参事1名、事務局2名

1、選手強化事業について

(1)第13回女子世界選手権大会選手団派遣について
　ドイツで開催の同大会選手団団長、副団長を了承。他に審判部、日本リーグより新ルール対応について、視察のため別に派遣することで了承。

(2)97ジャパンカップについて
　収支報告。決算を了承。

(3)日韓スポーツ交流事業について
　JOC・日体協の委託事業として実施した。継続実施を要請する報告があった。

(4)ナショナルスタッフについて
　女子チームはシドニーに向け強化コーチを韓国より招聘するために11月上旬に強化部長、女子部会長が訪韓する。
　男子チームは外国人コーチ雇用と新ルール技術の最新情報収集のため、蒲生監督と酒巻コーチをドイツに派遣。

(5)オリンピックアジア予選について
　日本で開催する意志をIF・AFに伝えておくことを依頼。

2、全日本総合選手権大会について

(1)第49回東京大会（男子の部）について
　大会要項確認。会場内ビデオ撮影について一般ビデオは前年並み有料。
　広告協賛について各方面に協力を求める。
　報告協賛企画書を協賛見込み事業へ配布し協力を要請した。

(2)第50回以降に見直しについて
　出場チーム数について、男女別開催の場合は各16チームとした。
　出場枠は決定のねらいは男女ともに日本リーグ1部8チームに他の8チームが挑戦する構図を採る。

■出場枠
日本リーグ1部　8チーム
学生　2チーム
ジャパンオープン　2チーム
日本協会推薦　4チーム

　日程については、IHF・国際大会・日本リーグ日程を考慮して決定するが、学生、社会人ともに日程の調整が難しく当面は現行の日程で実施していく。
　予選は行わず本戦のみとし、関東圏、東海圏、近畿圏の持ち回りとし、記念大会の開催希望の場合は協議することとした。
　その他小委員会で継続協議する。

3、日本協会60周年事業について

　50周年以降の10年間の主要大会の記録をまとめた記念誌を発刊することとした。
　第2回評議員会後に会費制で祝賀パーティーを開催する。

4、IHF競技集計システムについて

　著作権の取り扱いについて協議。

5、その他

(1)日本協会会計事務について、早急にOA化に着手する。
(2)16歳以上の競技時間変更のルール改正に伴い、IHF規則に従って実施できるよう高体連の意見をふまえて検討する。
(3)事務局国際担当職員について、エモック・エンタープライズより

事務局に社員を派遣することを報告。

(4)9年度登録について、全種別合計でチーム個人ともに前年を上回った。高校が減少しているが、今後内容を把握し対応策を検討したい報告があった。

(5)日本リーグオーナーに対し、世界選手権謝礼と次年度特別登録金について早急に実施に向け日程を調整することとした。

■報告事項

1、普及事業報告

各事業報告について要望を含め計画を報告

ビーチハンドボールについて日本協会事業として実施のため、競技要項・チームの実態を把握することとした。

公認コーチ資格所有者の氏名を機関紙に掲載することを決定。資格者マークについても検討する。

2、日本リーグ事業報告

9年度第1回日本リーグ委員会報告。

規律委員会規程の検討を開始する。

第22回プレーオフにクロアチアレフェリーを招聘。

外部講師による勉強会実施。

指定ホテル登録制度について。

スカイA、TVKでの放映について。

11月常務理事会

日　時　11月8日(土)10：30～15：00

場　所　日体協　504会議室

出席者　中澤専務理事、常務理事6名、参事1名、事務局2名

1、全国高校選抜大会について

高体連よりの参加チーム数増の要望に関連して、原則的には関東、東海、近畿圏で開催することとした。当面は平成10年度より移行期、準備期を勘案し、大阪、富山、愛知で2年間を提案することとなった。また、記念大会等の要望があればローテーションの中に挿入していくこととした。開催方法、予選会等は高体連で協議し、日本協会に承認を求める方向で推進していくこととした。

2、第49回全日本総合選手権大会について

大会運営マニュアルにより経過報告があった。

予算収入面で広告協賛金の比率が大きく、各常務理事に事業収入の協力を依頼した。

観客動員、大崎企業スポーツ事業研究助成財団よりの事業計画について報告。

3、選手強化事業について

強化委員会規定案が提示され、平成9年11月1日より施行を了承。

強化委員会報告

ドーピングテストについて1997～2000年の計画報告があり、1997年に啓蒙のための講習会を実施する報告があった。

平成7年から9年度の特別強化資金について報告。

女子ナショナルチーム強化対策として、韓国よりコーチを招聘する。日本協会との契約については検討する。

4、平成10年度以降のルール改正概要について

概要報告があり、平成10年1月に審判委員会で細部を検討の上決定するとの報告。

5、平成9年度読売スポーツ賞候補者について

第15回男子世界選手権熊本大会の男子ナショナルチームを推薦。

6、その他

(1)日本リーグ関連

平成10年カレンダー販売。

男子2部を第23回大会より10チームで開催。セレクションマッチは実施。

マレーシアからのコーチ派遣要請について、実業団へ依頼。

60周年記念誌について報告。概略予算の報告があり、上製本等での増額を含むことで了承。

オーナー会議を11月25日に開催。準備の依頼。

60周年記念パーティーを諸般の都合で1月31日臨時評議会の後に実施を了承。

■報告事項

第52回国体結果報告

11・12月スカイA放映報告

第49回全日本総合ハンドボール選手権大会

中村荷役が3年連続で3連覇を達成

男子の部

第49回全日本総合ハンドボール選手権大会は、女子ナショナルチームがドイツで行われる世界選手権参加のため、男女分散開催で行われた。

男子の部は、12月4日から7日まで東京体育館で各連盟などの代表16チームによって熱戦が繰り広げられた。

大会は、日本リーグで首位を行く本田技研と好調の三陽商会の戦いぶり、また、香川クラブの戦いぶりが注目されたが、香川クラブは初戦で三陽商会と当たり、延長の末破れ3年連続の2回戦進出はならなかった。

学生1位の日本体育大学は、1回戦では日本リーグ1部の北陸電力を難なく退けたが、続く2回戦の湧永製薬には格の違いを見せつけられ、敗退した。

大会前の下馬評では、あまり評価が高くなかった中村荷役は、エース趙の故障で日本リーグでも苦戦を強いられていたが、その分ディフェンスでがんばり、全体をロースコアーで勝ち上がった。大会前は優勝確率50%ぐらいと思っていたと朴監督が言っているとおり中村荷役にとっては苦しい大会であったが、それだけに価値のある優勝となった。最優秀選手賞に輝いたキャプテン井上は、自分の故障もあり、初優勝のようなうれしさと喜びを語った。

■準決勝

中村荷役 24（10－5、14－6）11 三陽商会

前半10分までは両チームとも慎重なスタートで3対3と一進一退であった。中村はその後の10分間11番吾を高く上げて1：2：3DFで三陽をノーゴールに抑え、その間快調に得点を重ねて8対3と試合の主導権を握った。三陽は固い守りを攻めあぐみシュートが打てずパスの場所を探す展開の中でカットをされて失点を重ねた。また、中村はエース趙が2本の7mをはずしロングも1点と不調であったが、セットで全員がよく動いて早いパスワークで三陽DFを翻弄して、サイド、ポストと確実な得点期を作り八尾ら全員がむらなく得点して前半は10対5で終了。

後半に入っても展開は全く変わらず逆に中村GK井上が好守で三陽追い上げの大事な速攻とカットインシュートをシャットアウト、また前半不調の趙が次々とシュートを決めて15分過ぎに19対9と大勢は決した。趙は後半だけで7得点であった。三陽商会は全く元気がないままトータル24対11でゲームセット。

中村荷役			三陽商会		
番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
1	林田	0	0	高橋	1
2	木浪	4	3	立島	2
3	西村	1	0	飯島	3
6	泉	1	1	長岡	4
7	八尾	4	2	中川	5
8	斉藤	0	1	渡辺	6
11	呉	3	1	佐藤	7
12	井上	0	2	岩本	8
13	趙	8	1	田中	10
14	林	2	0	湯井	11
17	西村	1	0	元村	12
19	宇佐美	0	0	濱川	14
		24	計 11		

■準決勝

湧永製薬 22（11－6、11－9）15 大同特殊鋼

昨年は同一カードで大同の一点差勝ち。雪辱を期す湧永は中央4枚の高いDFとGK坪根のファインプレーで大同・富本、市原、林

湧永製薬			大同特殊鋼		
番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
1	多田	0	0	秋吉	1
2	森山	2	0	佐藤	2
5	堀田	5	2	冨本	4
6	山口	0	3	市原	7
7	中山	3	2	藤井	8
8	ブラマニス	5	2	林	9
11	高田	0	4	末岡	10
12	坪根	1	0	清水	13
13	小沢	0	2	柴田	14
14	田中	0	0	松本	15
15	杉山	6	0	日原	16
17	浜本	0	0	南川	18
		22	計 15		

中村荷役・呉選手のロング（決勝より）

男子の部

No.	チーム
1	中村荷役
2	アラコ九州
3	埼玉フェニックス
4	本田技研
5	香川クラブ
6	三陽商会
7	早稲田大学
8	大崎電気
9	湧永製薬
10	トヨタ車体
11	北陸電力
12	日本体育大学
13	日新製鋼
14	三景
15	順天堂大学
16	大同特殊鋼

対戦	得点	前半	後半	延長	延長	得点	対戦
中村荷役	22	8－10	14－6			16	アラコ九州
埼玉フェニックス	16	11－14	5－22			36	本田技研
香川クラブ	27	10－12	14－12	3－2	0－4	30	三陽商会
早稲田大学	21	10－14	11－13			27	大崎電気
湧永製薬	39	21－7	18－11			18	トヨタ車体
北陸電力	18	8－17	10－16			33	日本体育大学
日新製鋼	31	18－12	13－8			20	三景
順天堂大学	16	10－18	6－15			33	大同特殊鋼
中村荷役	17	10－7	7－6			13	本田技研
三陽商会	22	12－6	10－14			20	大崎電気
湧永製薬	30	16－12	14－6			18	日本体育大学
日新製鋼	18	9－12	9－13			25	大同特殊鋼
中村荷役	24	10－5	14－6			11	三陽商会
湧永製薬	22	11－6	11－9			15	大同特殊鋼
中村荷役	23	10－9	13－11			20	湧永製薬

優勝・中村荷役

のシュートをシャットアウト。攻めては掘田のサイドからの巧技(3点)、ブラマニスの気迫あふれるステップシュート2連発。中山にマークが集まるところをポスト杉山にボールを集め(4点)、前半9分4対3から19分には7対3と試合の主導権を握った。大同も柴田の速攻2連取と市原のミドルシュート、GK日原のファインセーブで頑張るも11対6と5点差で前半を終了する。

後半に入ってもブラマニスのミドル(2点)、杉山のポスト(2点)、米山の巧技(2点)で10分に16対8と快勝ペース、そこから大同も必死に藤井、林でシュートを決め、追いすがるが再三のフリーシュートを坪根がファインセーブで得点を許さない。また、相変わらずの高いDFでシュートをカット、中山、ブラマニス、杉田、堀田と各自特徴を生かした得点で22分19対13、26分21対13と大勢は決した。

大同のロング陣、林、富本、市原を封じた湧永ディフェンス陣の動きのよさと、各選手の巧技が光った一戦であった。トータル22対15。

■決勝

中村荷役 23（13－11、10－9）20 湧永製薬

湧永堀田のサイドからの巧シュート2連発に対し、中村は呉と趙のミドルシュートで2対2とお互いに譲らないスタート。中村はトップDFに呉、2段目に西村を配しブラマニスを封じ、エース中山には趙が激しいマークで得点を許さない。湧永も呉、趙、木浪での攻めを防ぎ、ロースコアのシーソーゲームとなる。11分中山の初得点が決まり4対4と同点。趙のロング2点で優位に立つが、16分中山のロングで7対6と1点差に迫ってからの堀田のサイドフリーシュートを中村GK井上が好守し中村が8対6としてややペースを握り、10対9で前半を終了。

後半、中村は攻めても趙の3連続7mを含む5連取で5分13対10とペースを握り、守っても今度は中山に厚くマークをし、湧永のパスコースは分断、カットからも得点を重ね15分18対14とする。しかし、ここから湧永が猛反撃、小沢のこの試合5点目の7m、中山の必死のロングでついに24分森山のシュートで19対19とするが、26分20対20、27分趙のこの試合11点目で21対20で万事休す。中村逃げ切る。

中村荷役			湧永製薬		
番号	氏名	得点	得点	氏名	番号
1	林田	0	0	多田	1
2	木浪	1	2	森山	2
3	西村	1	3	堀田	5
6	泉	0	0	山口	6
7	八尾	3	7	中山	7
8	斉藤	2	1	ブラマニス	8
11	呉	5	0	高田	11
12	井上	0	0	坪根	12
13	趙	11	5	小沢	13
14	林	0	0	田中	14
17	西村	0	2	杉山	15
19	宇佐美	0	0	浜本	17
		23	20	計	

第49回全日本総合ハンドボール選手権大会

サイドストーリー

平成9年度チャンピオンを決める、コート上の熱い戦いは、日本リーグ前期不調の中村荷役の3年連続優勝で幕を閉じました。本大会は、日本協会が主催し、実行委員会が組織され運営されました。

審判講習会より

このため、大会には新しい試みが盛り込まれ、体育館の中では多くのイベントが行われ、来場したハンドボール愛好者で賑わいました。

①'97熊本世界選手権大会関連写真・物品展示コーナー

本年5月に熊本で開催された世界選手権は、多くの日本人にハンドボールの醍醐味と魅力と感動を与えてくれました。会場には、日本選手が実際に着用したユニフォームを始め、写真パネル、記念グッズ、各国から送られたメモリアル盾などが展示され、来場した人も足を止め、熱心に見入っていました。

②ハンドボール記念グッズ販売

日本協会をより多くの皆様に身近に感じてもらうために例年のプログラムの踏襲だけでなく、協会グッズの販売も積極的に実施しました。カレンダー、テレホンカード、審判委員会作成ビデオ、熊本記念絵皿、協会エンブレム、を始め、ナショナルチームが国際試合で交換に用いる記念バッジなど日頃ファンの手に入りにくいグッズに、多くの方に興味を持っていただき、購入していただきました。

③ハンドボール・フェスタ'97

昨年に引き続き、大崎企業スポーツ事業研究助成財団との共済により、西側アリーナ特設スペースにおいてファンと選手の交流会が5、6日の2日間に渡って行われました。準決勝進出チームの選手の手形入りサイン色紙の配布、試合の終わったばかりの選手と直接話をしたり、写真を撮り、ビデオプリンターによるシールを作ったり、ナショナルユニホームの試着をしたりの楽しい一時を過ごしていただきました。

④中学生のプレーを蒲生全日本監督がアドバイス

今回の大会では、2日目より熊本世界選手権で用いられたタラフレックスを敷いてのコートが用意されました。より多くの人に、このコートでプレーしていただくために、最終日の午前中を都内の中学生ハンドボールチームに開放しました。さらに、ミニゲームを行った後では、男子全日本の蒲生監督と酒巻コーチからアドバイスを受け、参加した中学生は大満足のようでした。

⑤ハーフタイムショー

決勝戦のハーフタイムには、玉川大学体育会ダンスドリルチーム「ジュリアス」の演技が披露されました。同チームは結成5年目で、今年は世界選手権大会の全日本選抜チームに5名の選手を送り、全日本選手権大会でも、4位の実力を持っています。観客は華麗で躍動的なダンスに、しばし酔いしれているようでした。

⑥関東学生・東京都協会審判講習会

大会最終日に併せて、東京体育館第一研修室では、関東学生ハンドボール連盟と東京都協会所属の審判員を対象とした審判講習会が開催されました。100名余の参加者は来年度改正ルールの説明に耳を傾け、講義終了後は体育館での熱戦を熱心に観戦し、最高レベルのハンドボールに見入っているようでした。

⑦観衆、メディアにアピールできる大会

2日目より会場には世界選手権でおなじみのタラフレックスコートが用意されました。また、今年はゴール後ろにも観客席を用意し、迫力あるプレーを身近で感じていただくと共に、テレビ放送でも映えるように心がけました。

⑧入場券プレゼントに200通の応募

1人でも多くの方に会場に足を運んでいただくために、朝日新聞、サンデー毎日を通して入場券プレゼントのお知らせをしました。両メディアで200通を超える応募があり、厳正な抽選の結果、当選者に入場券をプレゼントしました。

第49回全日本総合ハンドボール選手権大会

女子の部

イズミが初優勝

ナショナルチームが世界選手権のため、一昨年に続き男女分散開催となった第49回全日本総合選手権女子の部は、12月20日より23日まで、グリーンアリーナ神戸で開催された。

イズミ・林選手

大会は、期待された学生勢は1回戦ですべて姿を消し、2回戦より日本リーグ1部チームで争われた。2回戦以降は日本リーグでの混戦を象徴するがごとく波乱の展開となった。第一シードの日立栃木は、早々とジャスコに敗れ去った。連覇を狙ったオムロンも世界選手権のため、調整遅れから2回戦で姿を消した。

決勝には、接戦をものにした大崎電気と昨年度の日本リーグチャンピオンのイズミが進出。イズミがエース・洪の活躍で初優勝を飾った。

■準決勝（12月22日・第3日）

大崎電気 30（13－14 17－15）29 ジャスコ

互いに得点を重ねる中、前半はジャスコ一点リードで折り返す。後半21分、ジャスコ土師の退場で、大崎・江連のポストシュートなどで、3点リード。しかし、ジャスコも粘り、28分、29分に山形が得点し、追いつき延長戦かと思われたが、終了間際に大崎・宋のシュートが入り、ゲームセット。終始、観客を沸かせたゲームであった。

〔ジャスコ〕番号	氏名	得点	〔大崎電気〕得点	氏名	番号
2	山形	7	0	永尾	3
3	橋谷	1	5	江連	6
4	佐々木	0	0	鵜狩	7
5	浦田	5	2	佐久川	8
7	辻	8	1	船津	9
8	池田	5	8	金	10
9	松永	0	0	後藤	12
10	原田	0	10	宋	13
11	土師	3	0	高橋	14
12	友貞	0	0	穂積	15
14	五城	0	0	金丸	16
16	葉田	0	4	佐藤	17
	計	29	30	計	

イズミ 34（15－12 19－18）30 立山アルミ

スタートよりイズミ・洪にマンツーマンがつけられ、立山・崔、イズミ・林の打ち合いとなる。後半13分からは、イズミは林、洪にダブルマンツーマンをつけられた

〔立山アルミ〕				〔イズミ〕			
番号	氏名	得点		得点	氏名	番号
1	本間	0		0	軽部	1
2	竹野	0		2	藤沢	3
3	田中	0		7	青戸	4
4	崔	10		0	河本	6
5	前山	2		11	林	7
6	嶋田	1		0	岩本	8
7	山崎	2		5	中村	10
9	山崎	2		5	洪	11
11	新屋	1		0	村上	12
12	村上	0		4	飯田	13
13	柳	10		0	柴田	14
15	鏡森	2		0	藤野	17
		30	計	34		

が、そこから立山は7点連取し、同点になり、残り5分でイズミ・林が退場になったがサイド、ポストシュートで加点し、イズミが逃げ切った。

■決勝（12月23日・第4日最終日）

イズミ 37（15−13 / 22−18）31 大崎電気

大崎電気が金、宋のシュートで一歩リードしたが、イズミ・林、洪のシュートで追いつき、その後大崎の宋のミドルシュート、センター金とポスト江連のコンビで加点。イズミは洪のロング、ミドルシュートが当たりだし、23分、宋が2分間退場となり、イズミが2点差で前半終了。

後半5分、大崎・宋、金のシュートで追いつくが、イズミ・洪のシュートが当たりだし、速攻で青戸、中村のサイドで突き放す。大崎・宋のシュートなどで28分3点差まで追いつくが、最終的には6点差でイズミが大崎を下した。

イズミ・洪選手のロング（決勝より）

イズミ・洪選手

〔大崎電気〕				〔イズミ〕		
番号	氏名	得点		得点	氏名	番号
3	永尾	0		0	軽部	1
6	江連	7		2	藤沢	3
7	鵜狩	2		6	青戸	4
8	佐久川	4		0	河本	6
9	船津	2		7	林	7
10	金	2		1	岩本	8
12	後藤	0		7	中村	10
13	宋	13		14	洪	11
14	高橋	0		0	村上	12
15	穂積	0		0	飯田	13
16	金丸	0		0	大曽根	15
17	佐藤	1		0	藤野	17
		31	計	37		

大崎電気・江連選手のポスト

女子の部

回戦	チーム	前半	後半	計		計	前半	後半	チーム
1回戦	日立栃木	20	15	35	－	17	8	9	ブラザー工業
1回戦	大阪体育大学	8	11	19	－	22	8	14	ジャスコ
1回戦	東京女子体育大学	8	12	20	－	24	14	10	大崎電気
1回戦	京都教員クラブ	7	6	13	－	39	21	18	北国銀行
1回戦	オムロン	10	17	27	－	19	6	13	筑波大学
1回戦	シャトレーゼ	13	16	29	－	30	13	17	立山アルミ
1回戦	大和銀行	12	14	26	－	16	6	10	かながわガビアーノ
1回戦	武庫川女子大学	8	12	20	－	30	21	9	イズミ
2回戦	日立栃木	10 17 2 2		31	－	34	14 13 3 4		ジャスコ
2回戦	大崎電気	11	16	27	－	25	17	8	北国銀行
2回戦	オムロン	7	17	24	－	31	13	18	立山アルミ
2回戦	大和銀行	12	21	33	－	36	18	18	イズミ
準決勝	ジャスコ	14	15	29	－	30	13	17	大崎電気
準決勝	立山アルミ	12	18	30	－	34	15	19	イズミ
決勝	大崎電気	13	18	31	－	37	15	22	イズミ

優勝　イズミ

※左側が前半スコア

第13回世界女子ハンドボール選手権大会報告

日本女子、世界を相手に大健闘

［公認Ａ級コーチ］
全日本女子監督　樫塚　正一

第13回大会が11月30日～12月14日の１５日間ドイツ各地で開催された。

日本の参加は前回につぐ連続２回の出場となる大会であった。今大会の特徴は開催年度が４年開催でなく、２年に１回の開催へと変わったことである。この変更は選手層の厚い国にとっては有利であり、層の薄い国は選手を入れ替え、戦術やチームを充実させる強化の為には負担となる変更である。

日本チームは前回の経験者は４名であり、14名が大会初参加といった状況での参加になった。大会24カ国中身長形態は最も小さく、攻防において身長を工夫した戦いを余儀なくされた状況にあった。戦術の中で生かした工夫は、攻撃ではスピードを殺さないこと。スピードの中で動きは複数の人数をからめたもので変化を行い、動きはブロックプレーと視野外からの展開を強調した。この動きで防御に遅れや崩れが見えた時に、クイックによるステップシュートを生かす方法を取った。小さい者が高い壁の前からシュートを行うにはこの戦術は成功した。ただこの成功も時間を追うごとに、試合を重ねるごとに戦術を読まれ、有効度が低くなったことは課題として残った。速攻展開は防御と深い関連性を持ち、単に速攻展開を言えるものではないが、防御が成功した後のショートパスによるつなぎによる展開はパスの工夫さえあれば高い得点源となることは自信を持ってよいものであった。

しかし今大会の得点が上位進出したチームに17～18点に押さえられていることは反省点である。防御では小さい者が高い壁を作る為には、単に努力するだけでは成果を得られず多くの工夫が必要であった。防御ラインを普段より高く上げること、展開に対して読みを入れ相手の動くコースを判断することを強調した。また、必ず複数の者で相手のコースを止めることを継続させた。大きい選手に対して、この戦術は成功したが体力の消耗によって集中力が切れた時の判断力は正確ではなかった。しかし戦績結果にあるように失点には大きい成果をあげることができる。

総評としては戦術の選択は正しいものであったが、持久的な体力が足りず集中力の切れる時間帯に多くのミスがありこの状況時に集中的な失点を重ねる結果を反省点としてとらえなければならない。次回大会には２／３の経験者が大会に臨める年齢層であるチャンスを持ったものであり、新しい戦術を加えて新たに努力することを熱望したい。

［最終順位］

優勝　デンマーク
2位　ドイツ
3位　ノルウェー
4位　ロシア
5位　韓国
6位　クロアチア
7位　マケドニア
8位　ポーランド
9位　ハンガリー
10位　フランス
11位　オーストリア
12位　ルーマニア
13位　チェコ
14位　アイボリコースト
15位　アンゴラ
16位　ベラルーシ
17位　日本
18位　スロバニア
19位　アルジェリア
20位　カナダ
21位　ウズベキスタン
22位　中国
23位　ブラジル
24位　ウルグアイ

世界選手権大会報告
日本チームの戦いから

西窪　勝広

■第１戦

日　本　17（7－16／10－16）32　ドイツ

地元ドイツとの開幕戦、嬉しさと不安とで臨んだゲームであった。会場に入場すると約６０００名近い観客で、選手達に緊張するなと言う雰囲気であった。しかし、選手達は自分達のペースでキャプテン上出を中心に本番にそなえてくれた事に嬉しさを感じた。

ゲーム内容は、ハンガリーカップで対チェコナショナルチームに成功した２：４ディフェンスでドイツに臨んだがポストの速い動き、鋭いカットインプレイでディフェンスラインを崩され、なかなかリズムをつかめない戦いであった。前半15分までは田中美代子のロ

ングシュート、辻の速攻等で得点でき接戦はするものの長身からのロングシュート等で加点され、前半を9点差で折り返した。

後半は前半の反省を踏まえ、変則1：5ディフェンスで対応した事が相手攻撃のリズムを崩す事ができたものの、逆に自チームに基本的なパスミス、シュートミスが多発し点差を縮める事ができず最終的には15点差で終了した。だが、選手達は最後の最後まで可能性にかけ、戦いぬいてくれた事が残りの予選リーグに大きな〝こやし〟になったと思う。

2日後のオーストリアには日本チームとしての戦いを挑みたい。

No.5 上出選手

GK.山口選手

■第2戦

日本 16（8－11、8－13）24 オーストリア

2年前の開催地オーストリアとの対戦。

オーストリアの第1戦目の試合を観戦し、相手チームの両エースNo.15、No.5の高さのあるシュートにどう対応するか。また、大きなクロスプレイからのポストへのパスカットを課題として臨んだ。

まず、スタートはディフェンスラインを2：4対策でいく。しかし、0：6ディフェンスが相手チームに効果的と判断し切り換えた事で、相手チームのリズムを崩す事ができ、GK山口の好守、辻のサイドシュート等で接戦するものの、前半の中盤より約10分間のエアーポケットで4対11と7点差をつけられた。しかし再度ディフェンスで立ち直り前半を8対13と5点差で折り返す。

後半はスタート時より、前半の余力でディフェンス、攻撃とリズミカルに日本ペースで進行するが、やはり大変な時間帯での7mやシュートミスで点差を縮める事ができなかった。

だが、このオーストリア戦は、まずディフェンスの評価、そしてサイドの突破力等、第1戦目とは違った良い面がでた事が対ブラジル戦に大きな自信になった。

■第3戦

日本 25（15－12、10－9）21 ブラジル

どうしても1勝しなければいけないチームでもあり、予選リーグを勝ち進むためにも大切なチームであった。前半スタートより速攻等で5対1とリードし、好調な出足であったし、また、ディフェンスでも0：6の高い位置でのアタックそしてGK山口の好守と全てが日本チームのリズムであった。

しかし、単独でのシュートミスが連続し、自分達でリズムを崩し連続得点を許してしまい前半は10対9と1点リードして終了。

後半スタートよりブラジルに得点を許すものの佐久川の速攻等で接戦する。後半10分、逆転されるが、GKの7mを止めたり、またやっと田中美代子のロングシュート、そしてボントプレイでの得点ができるようになり、残り10分で6点差をつける事ができた。

残り2分でキャプテン上出が退場となるが、5人ディフェンスでよく頑張ってくれ、4点差で嬉しい1勝をあげる事ができた。

好スタートを切りながら接戦となった事はやはり基本的なシュートミス等である。毎回反省課題として上げているが、1日大会が休みになる。気持ちを切り換えて次戦のアンゴラに臨みたい。

■第4戦

日本 30（14－15、16－15）30 アンゴラ

決勝トーナメントに進出するには絶対落とせないゲームであった。

前半スタートより日本チームのリズムで流れる。青戸の速攻、GK山口の好守で5対1と4点差までリードするが長身のディフェンスにシュートを止められ、逆速攻で失点となり接戦となる。しかしディフェンスの踏ん張りで3点差までリードできるものの4点差とする事ができず、結果的に前半1点リードで終了する。

ハーフタイムで指示も高いディフェンスの上からは絶対に厳しいシュート体制となるのでクイックシュート、視野外の走りで攻撃の切り口と速攻での得点を広げるように指示する。

後半、立ち上がり2点連続得点を許し、リードされ流れがアンゴラペースとなる。しかし、キャプテン上出のボールカットからの速攻、田中(音)、田中(代)のロング、ステップシュート等でリズムをとりもどし3点差あったものを同点として、残り3分で2点リードする。

しかし、レフリーのあきらかな判定違いで流れがアンゴラになり、残り2分30秒で1点差とされ、残り1分で同点となる。最後の攻撃でセットプレーが成功し、シュートも決まり勝ち越しかと思ったがラインクロスの判定で同点で終わる。

選手達は最後まで全ての力で戦ってくれた。最終戦のポーランドでは、今日以上の力を出し戦い抜くのみである。

■最終戦

日本 16（6－12、10－12）24 ポーランド

昨日のアンゴラ戦との引き分け、また対アンゴラとの得失点差5点のハンデを背負ってのゲームであった。

ポーランドとは最悪でも引き分けでなければ上位戦への進出が厳しい状況であった。

スタートより全員が頑張ってくれ、上出の先取点でスタート。好調かにみえたが、ポーランドの組織的な攻撃に逆に主導権をとられる。しかし、中盤よりDFの頑張り、また攻撃で相手チームの退場を誘い、前半終了間際に2点差まで追い上げて終了する。

後半も前半のリズムでスタートしたが最終的には体力面で差ができ、8点差で敗れ、上位進出はならなかった。

しかし最後まで良く選手達は努力し、残り1秒まで果敢に戦ってくれた事に感謝の気持ちで一杯である。

若い選手の多いチーム、今後の全日本に大きな希望がもてる。上出、田村、そして強化合宿中に大きなアクシデントでコートに立てなかった松尾がチームをよくまとめてくれ、また出場機会のなかった浦田、隅等も世界のハンドボールを目に焼きつけてくれたと思う。
　日本からも実業団チームのスタッフの方々が現地まで応援に駆けつけていただき、また協会関係者も応援いただいた事が大変心強く感じました。

スロバキア結果報告

■第1戦
日本 25（12－17、13－14）31 Sala

ノルウェーの応援団

■第2戦
日本 27（13－11、14－10）21 ズラトナ

■第3戦
日本 23（14－18、9－11）29 チェコ

■第4戦
日本 23（11－13、12－19）32 スロバキア

ハンガリーカップ

■第1戦
日本 16（12－22、4－19）41 ハンガリー

　スロバキアでの練習マッチを1勝3敗という結果で終了し、ハンガリーカップに臨んだ。
　スロバキアでもチェコナショナル、スロバキアナショナルとある程度、日本チームの目標とするゲーム内容で自信めいたものがあったが、世界選手権で上位をねらうハンガリーには前半こそ戦いができたものの後半は自分達のミスから全てハーフ速攻で失点となり、苦しい戦いであった。平均身長178cmという高さ、それに加えてのパワーと比較する全てが日本チームの数段上であった。
　しかし、セットプレイ（日本独自）その中でのスカイプレイ、田中(音)のステップと部分部分に良いものも表現できた。またDFでは後半積極的にアタックし、身長差を感じさせない時間帯が10分程あったが体力面で逆に攻撃にミスが現れて得点されるペースになってしまった。
　選手達もスロバキアで自信となったものがくずれた面もあるが、2戦目のポーランド、3戦のチェコ戦で再度調整し本番に臨みたいものです。

■第2戦
日本 22（10－16、12－14）30 ポーランド

　世界選手権予選で同グループでの対戦。
　攻撃面でセットプレイを数多くだす事ができず、前半苦戦する。後半に入り、田村のステップシュート、相手ミスからの速攻と苦しいながらも加点しリズムをつかむ。昨日のハンガリー戦の暗い部分が心配であったが、選手個々が良く気持ちを切り換えてくれた事が本日の試合内容となったと思う。
　しかし、やはり単純なミス、また高いブロックにシュートをはばまれ逆速攻で失点の場面が多い。その事を最終戦に注意し頑張りたい。
　ここまで6戦終了。1勝しか上げられていないが対外国人に対するアタック、またスピード、パワーにも慣れつつある。体力が心配であるが選手個々の頑張りに期待したい。

■最終戦
日本 26（13－11、13－15）26 チェコ

　ハンガリー、ポーランドと激戦が続き、体力面も苦しい状況であったと思う。しかし選手達は、対チェコ戦に対して前半から積極的にアタックディフェンスをくりかえし、相手リズムをくずしてくれ、田中(音)、田村、田中(代)がコンスタントに加点し13対11と2点リードで折り返す。キャプテン上出がリードよくキャプテンとしての役割をはたしていたが、3回目の退場をとられ前半15分で厳しい状況にもなったが、松本がDF面でよくリードしてくれた。後半に入り、即同点にされ、2点リードされるが、選手達がよくDFでふみとどまり田中(音)と田中(代)とのスカイプレイでリズムをとりもどし残り5分で2点リードをする。チェコもシュートミス等が目立ち、GK山口、山下の活躍もあり、残り20秒で1点とする。しかしチャージングの反則をとられ、逆速攻となり26対26と同点で終わる。
　本大会を前にし実戦的な戦いができた気がする。しかし、本大会ではムードもまた開幕戦という大きな違いがあるが、全員で良いムードでドイツに乗り込みたい。最終戦の全員の頑張りには感謝したい。

選手権大会結果

予選ラウンド

Aグループ	ドイツ	ポーランド	オーストリア	アンゴラ	日　本	ブラジル	得失点	勝点
ドイツ	——	29-19	28-18	32-20	32-17	32-18	153- 92	10- 0
ポーランド	19-29	——	26-25	29-24	23-17	32-19	129-114	8- 2
オーストリア	18-28	25-26	——	29-22	24-16	29-22	132-115	6- 4
アンゴラ	20-32	24-29	22-29	——	30-30	30-23	126-143	3- 7
日本	17-32	17-23	16-24	30-30	——	25-21	105-130	3- 7
ブラジル	18-32	19-32	23-36	23-23	21-25	——	104-155	0-10

Bグループ	クロアチア	ノルウェー	フランス	ベラルーシ	カナダ	ウズベキスタン	得失点	勝点
クロアチア	——	25-22	21-20	28-19	27-14	45-15	146- 90	10- 0
ノルウェー	22-25	——	23-19	34-21	32-15	44-13	155- 93	8- 2
フランス	20-21	19-23	——	30-17	32-17	39-17	140- 95	6- 4
ベラルーシ	19-28	21-34	17-30	——	30-13	35-20	122-125	4- 6
カナダ	14-27	15-32	17-32	13-30	——	18-18	77-139	1- 9
ウズベキスタン	15-45	13-44	17-39	20-35	18-18	——	83-184	1- 9

Cグループ	韓　国	ハンガリー	ルーマニア	アイボリーコースト	アルジェリア	ウルグアイ	得失点	勝点
韓国	——	30-29	30-21	30-24	35-16	35-11	160-101	10- 0
ハンガリー	29-30	——	30-26	33-21	28-13	36-12	156-102	8- 2
ルーマニア	21-30	26-30	——	28-26	44-23	34-15	153-124	6- 4
アイボリーコースト	24-30	21-33	26-28	——	21-20	29-18	121-129	4- 6
アルジェリア	16-35	13-28	23-44	20-21	——	29-18	101-146	2- 8
ウルグアイ	11-35	12-36	15-34	18-29	18-29	——	74-163	0-10

Dグループ	ロシア	マケドニア	デンマーク	チェコ	スロベニア	中　国	得失点	勝点
ロシア	——	22-19	22-22	27-24	30-27	27-19	128-111	9- 1
マケドニア	19-22	——	25-23	24-24	26-22	30-24	124-115	7- 3
デンマーク	22-22	23-25	——	41-27	37-24	38-16	161-114	7- 3
チェコ	24-27	24-24	27-41	——	31-28	30-25	136-145	5- 5
スロベニア	27-30	22-26	24-37	28-31	——	35-34	136-158	2- 8
中国	19-27	24-30	16-38	25-30	34-35	——	118-260	0-10

第13回女子世界

決勝トーナメント

チーム		1回戦	準々決勝	準決勝	決勝
ドイツ（A組1位）	GER	33	24	23	
ベラルーシー（B組4位）	BLR	23			
ルーマニア（C組3位）	ROM	33			
マケドニア（D組2位）	MKD	37	19		
大韓民国（C組1位）	KOR	29	21		
チェコ（D組4位）	CZE	26			
オーストリア（A組3位）	AUT	18			
ノルウェー（B組2位）	NOR	24	27	25	20
デンマーク（D組3位）	DEN	30	25	32	33
ハンガリー（C組2位）	HUN	25			
クロアチア（B組1位）	CRO	30	21		
アンゴラ（A組4位）	ANG	22			
フランス（B組3位）	FRA	20			
ポーランド（A組2位）	POL	30	19		
ロシア（D組1位）	RUS	28	24	22	
アイボリーコースト（C組4位）	CIV	20			

優勝
デンマーク

最終順位

優勝　デンマーク	7位　マケドニア	13位　チェコ	19位　アルジェリア
2位　ノルウェー	8位　ポーランド	14位　アイボリーコースト	20位　カナダ
3位　ドイツ	9位　ハンガリー	15位　アンゴラ	21位　ウズベキスタン
4位　ロシア	10位　フランス	16位　ベラルーシ	22位　中国
5位　韓国	11位　オーストリア	17位　日本	23位　ブラジル
6位　クロアチア	12位　ルーマニア	18位　スロベニア	24位　ウルグアイ

男子第40回 女子第33回 全日本学生ハンドボール選手権大会

男子 日本体育大学が3年ぶり13回目の優勝

女子 東京女子体育大学が5年連続14回目の優勝

日本体育大学・田中選手（決勝より）

男子第40回女子第33回高松宮杯全日本学生ハンドボール選手権大会は、11月12日より16日まで、川崎のとどろきアリーナをメイン会場に、全国から男子32チーム、女子24チームの精鋭を集めて行われた。大会方式は、昨年までの準決勝リーグ→決勝方式から、トーナメント方式に改められ、一戦一戦が緊迫したゲーム展開となった。

男子の部は、大阪経済大学、大阪体育大学、筑波大学など有力校が次々と敗れ去っていく中、日本体育大学と早稲田大学が決勝へ駒を進めた。決勝では早稲田大学が踏ん張ったが、国士舘戦でのけが人が響き、日本体育大学の13度目の優勝となった。

一方女子は、前評判通り東京女子体育大学が圧倒的強さを見せた。反対ゾーンからは筑波大学が、大阪体育大学と大接戦の延長戦を演じるなど、苦しみながらも決勝へ駒を進めてきた。決勝戦は1点を争う熱戦となったが、東京女子体育大学が5年連続で14回目の優勝を飾った。

男子

■準決勝

日本体育大学 26（13－9 13－10）19 福岡大学

前半20分まで両チーム一進一退。日体大はここからセンターの谷口を中心に得点を重ね、前半13対9と4点差。後半福岡大学が速攻をしかけ、20番篠崎で1点差までつめよったが、地力にまさる日体大が、ポスト、サイドを含め、終盤の福大のオールコートプレスなども結局通じず、7点差で終了。負けはしたが、福大の健闘が光った。

■準決勝

早稲田大学 27（12－10 15－9）19 順天堂大学

早稲田の所の先制点ではじまり、順天堂も峰村、植松で反撃するが早稲田・栃谷の4得点で前半を2点リードで終わる。後半10分、早稲田の4連取で6点差となる。GK黒川の好セーブもあり、速攻で得点を重ねた早稲田が大勝した。

■全日本総合出場決定戦

順天堂大学 21（11－9 10－8）17 福岡大学

前半立ち上がり、順天堂の5：1ディフェンスに対してシュートが決まらない福岡大。対する順天堂大は着実に得点を重ね、徐々にリードを広げていく。中盤、順天堂7番高野の退場を機に、福岡大も追い上げ、2点差で折り返す。後半、順天堂大は手渡し攻撃等でリードを広げ主導権をにぎり、終盤の福岡大の追い上げをしのぎ、全日本総合の出場を決めた。

■決勝

日本体育大学 28（13－14 15－10）24 早稲田大学

早稲田大学・所選手（決勝より）

番号	日体大	得点	得点	早稲田大	番号
2	田　中	7	0	黒　川	1
4	池　田	3	4	栃　谷	2
6	伊　禮	1	4	杉　田	3
9	佐々木	3	4	松　本	4
10	田　場	6	0	梶　原	5
11	谷　口	5	4	高　田	6
12	宇　野	0	5	所	7
13	小　倉	0	0	武　藤	8
16	高　木	0	0	菊　地	9
17	大　村	0	3	船　木	11
18	瀧　川	0	0	樋　下	12
20	松　林	3	0	山　口	13
		28	24	計	

日体大10番田場、早稲田6番高田のシュートからゲームが開始。早稲田は変則のディフェンスに日体大が苦戦、7番所のシュートなどで18分3点差としたところで日体大はタイムアウト。日体大はキャプテン田中、11番谷口のシュートで14対13と追い上げ後半へ。日体大伊禮のシュートでついに同点。日体大GK高木がゴールを死守。残り10分、日体大田中の連続ゴールで22対20、早大高めの2・4ディフェンスも通じず、28対24で日体大が勝利をおさめた。

女子

■準決勝

東京女子体育大学 24（15－9、9－10）19 武庫川女子大学

立ち上がり両チーム、ミドル、ポストと使い分け、8分まで4対4と同点。ここから板谷、児島、山口のロングが入り、連続5ゴールで東女が主導権を握る。前半終了前、武庫川7番大石が連続ゴールするも15対9と6点差で後半へ。後半守りから速攻で3点差まで追いつくが東女ゴールキーパー仁井田の好キーピングによりこれ以上点差をつめることができず、24対19と5点差でゲームが終了。しかし、後半の武庫川のあきらめない速攻はすばらしかった。

■準決勝

筑波大学 23（10－10、10－10、2－0、1－1）21 大阪体育大学

立ち上がり大阪体育大学が18番横田の活躍でリードするが、筑波大学も20番山田のボール回しから得点し、一進一退の攻防が続く。ラスト5分で大阪体育大学がリードするもラスト1分で9番斉藤が決め、延長戦へと入る。延長前半、筑波大学がフォーメーションで2点リードで後半へ入る。先取点は大阪体育大学が取るが、筑波大学キャプテン日下部がカットインで得点をあげ終了となる。

■決勝

東京女子体育大学 24（10－10、14－13）23 筑波大学

立ち上がりから、筑波・日下部、山田、東女体・児島、山口のミドルにより一進一退。両チームの好プレーが続く。特に両チームGK仁井田、倉の好守も光り、10対10で後半に入る。後半は両チーム共に2点差まで広げると追いつかれるシーソーゲーム。ここで東女体村田が速攻・サイドと連続ゴール、大きく流れをつかむ。筑波もキャプテン日下部が力強くゴールしたが1点及ばず、東女体が1点差で勝利をおさめた。

番号	東女体大	得点	得点	筑波大	番号
1	仁井田	0	0	加　埜	1
2	児　島	6	8	日下部	2
3	安　藏	0	0	桜　井	4
4	伊羅子	0	4	早　川	5
5	柿　崎	0	0	岡　野	7
6	樺　澤	2	5	斉　藤	9
7	倉　知	1	0	倉	12
8	小　島	1	0	橋　本	13
10	山　口	7	0	藤　田	14
11	板　谷	4	1	村　上	15
12	阿　部	0	0	上　山	17
14	村　田	3	5	山　田	20
		24	23	計	

個人表彰

■優秀選手

男子　GK／黒川　博之（早稲田大学）
　　　CP／田中　　将（日本体育大学）
　　　　　田場　裕也（日本体育大学）
　　　　　谷口　　了（日本体育大学）
　　　　　所　　　努（早稲田大学）
　　　　　植松伸之介（順天堂大学）
　　　　　白根　和樹（福岡大学）
女子　GK／仁井田朗子（東京女子体育大学）
　　　CP／児島　　愛（東京女子体育大学）
　　　　　山口　美穂（東京女子体育大学）
　　　　　日下部美智（筑波大学）
　　　　　早川まさみ（筑波大学）
　　　　　田中　絹恵（大阪体育大学）
　　　　　大石　真代（武庫川女子大学）

■特別賞

男子　CP／佐々木教裕（日本体育大学）
　　　CP／栃谷　剛史（早稲田大学）
女子　CP／山田　永子（筑波大学）
　　　GK／田中　麻美（大阪体育大学）

■最優秀監督賞

男子　北川　勇喜（日本体育大学）
女子　高野　　亮（東京女子体育大学）

<男　子>

大阪体育大学
金沢工業大学
名城大学
法政大学
福岡大学
仙台大学
沖縄国際大学
中央大学
広島大学
慶應義塾大学
中部大学
東海大学
桃山学院大学
道都大学
同志社大学
日本体育大学
26
10
24
28
27
16
25
33
16
23
25
22
36
18
20
36
19
20
23
21
28
35
23
30
17
21
26
36
決勝
28−24
19
26
19
27
全日本総合
出場決定戦
17
21
福岡大学
順天堂大学
大阪経済大学
函館大学
中京大学
順天堂大学
愛知学院大学
東北福祉大学
京都産業大学
日本大学
東和大学
筑波大学
福岡教育大学
早稲田大学
広島経済大学
拓殖大学
近畿大学
国士舘大学
24
31
23
28
27
24
21
37
14
24
25
42
24
34
12
36
16
25
18
31
20
25
18
26
22
21
24
20

<女　子>

東京女子体育大学
沖縄国際大学
日本女子体育大学
関西女子短期大学
東北福祉大学
中京女子大学
茨城大学
福岡教育大学
東海大学
広島大学
北海道女子大学
武庫川女子大学
筑波大学
大阪教育大学
秋田大学
天理大学
仁愛女子短期大学
福岡大学
日本体育大学
中京大学
國士舘大学
岡山県立大学
聖徳大学
大阪体育大学
39
17
13
38
40
22
18
31
25
26
28
27
34
23
16
26
28
22
10
33
35
14
36
12
30
29
39
14
11
48
26
19
15
16
21
24
27
24
8
48
決勝
24−23
24
23
19
21

第8回全京都車いすハンドボール大会

京都府ハンドボール協会副会長　小西　博喜

昨年度、本誌で第7回全京都車いすハンドボール大会についてご報告しましたが、本年度は第8回大会が昨年11月30日（日）京都市障害者スポーツセンター体育館（A・Bコート）で開催されましたのでご報告します。

今回は昨年の10月9日付で、全国各都道府県ハンドボール協会理事長宛と全国各都道府県障害者スポーツ協会会長宛に京都障害者スポーツ振興会、内山茂生会長から第8回大会実施要項が送付され、参加希望の呼びかけがありましたが、各府県ともその準備体制がまだ整っていないこともあり、PR活動に留まりました。そこで、ご参考までに今回の実施要項と参加申込書をご紹介し、まず大会の概要を理解して頂くことが先決ではないかと思います。

特に、今回の問い合わせとしては愛媛県越智武氏（愛媛県協会）他2・3件がありました。開会式に際して大阪ハンドボール協会神田清会長、島根県ハンドボール協会宇津徹男会長（浜田市長）から祝電を頂き、障害者選手が勇気づけられたことに御礼申し上げたいと思います。また、岡本克彰氏（元日本協会審判審査委員）に出席して頂き、閉会式まで大会競技全体に亘ってのご意見や来年度に向けての課題等、関係者にとっては貴重な検討資料となりました。ここに合わせて感謝致したいと思います。

さて、今後の本大会のあり方について主催者側の意向をまとめますと、近い将来（第10回大会予定）、全国大会の名称で車いすハンドボールの輪を広げていくねらいがあり、記念大会として開催することや、さらには、国体後の障害者の国体種目にも加入できるよう、その実現を目指して各都道府県から1チームでも出場して頂くことを要望しております。皆さんはこのテーマについて如何お考えでしょうか。ご意見をお待ちしております。

この「車いすハンドボール大会」は、京都府障害者スポーツの中で、極めて少ないチームゲームとして「車いすハンドボール」競技が全くの手作りから考案されました。その最も大きな理由は、障害者にとって上半身が健常であり、全力を駆使して楽しめるエネルギッシュなスポーツであることが理解されたからであります。過去7年間、京都府ハンドボール協会との個別的な協議を重ねながら今日まで取り組んできた歴史的過程の中で、今、「車いすハンドボール」競技普及への動きは障害者の社会福祉的なスポーツの中でも急務の課題といえます。また、（財）日本ハンドボール協会に課せられた社会的な責任でもあり、将来への使命感を持った強い認識でその対策をご検討願いたいと思います。

現在、京都府内には15チーム程度の数（選手は駅伝、バスケット、卓球、水泳などの種目にも出場している）ですが、「車いすハンドボール」競技に対する関心はすこぶる高く、常に楽しくプレーすることに徹し、年々技術的な向上も目覚ましく、競技をサポートする審判のスタッフも前日には審判技術講習会を開くなど、レベルアップを図る研究心旺盛な努力が伺えます。

京都障害者スポーツ振興会は、平成2年度に（財）京都府体育協会加盟団体として承認され、50種目の競技団体や44市町村体育団体及び学校団体の友好団体として、目的達成のための諸事業に参画し活動しております。そして、障害者スポーツへの深い理解と協力及び充実発展を目指した府民の社会福祉的なボランティア活動として努力をしているのが現状です。

その意味でも、京都障害者スポーツ振興会は、他府県からの参加を希望し、仲間を広げるための門戸を開放して全国的な普及振興に乗り出しています。いつでも、どこからでも気軽に参加できるよう全国各都道府県ハンドボール協会の生涯スポーツとして「共存」できる新しい両輪の育成と、（財）日本ハンドボール協会機構の指導体制づくりが期待されております。

第8回大会の観戦からそれぞれの感想を述べ、競技規則をご理解頂く参考にして頂きたいと思います。

①コートの大きさに制限がある

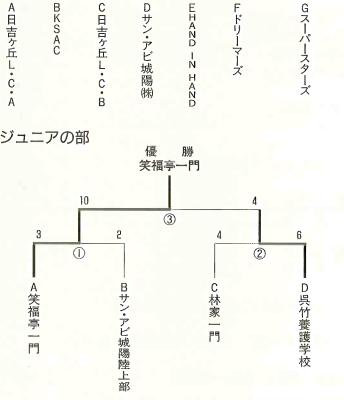
が、パスの妙味と速攻を出すためには現在のコートの大きさではやや狭い感じがする。決勝戦だけでも、タテ30m×ヨコ15mのコートの大きさで、速いパスのゲームが見たいものである。
②ゴール前のゆさぶりのパスを使うと、サイドシュートが有効である。
③熟練したチームでは幾つかの攻撃のパターンを持っており楽しい。
④車いすバスケットボールをしているプレーヤーはボールの操作が実にうまい。
⑤ゆっくりとしたバウンドシュートが有効に決まり、ゲームに変化が見られる。
⑥パスカットが再三見られ、ディフェンスの位置取りの速さが得点に影響することがわかる。
⑦強いチームになると、攻撃に失敗した後の戻りが速い。
⑧ゴールインの判定はボールの完全通過とした方がよいのではないか。
⑨ゴールキーパーはユニフォームの色を他のプレーヤーと変えた方が区別しやすいのではないか。
以上、昨年のゲーム内容から新しく工夫された面もあり、また、ゲームがスピード化するため、車いす同士の接触が起こり、転倒も簡単に生じるので安全面の検討も必要かと思います。しかし、個人競技とは違って、グループ単位の協調精神の昂揚と集団生活の協力的な意識がトレーニングされるのがこの「車いすハンドボール」競技の持つ魅力でもあります。本大会のさらなる発展を念じ、「全国車いすハンドボール大会」への参加を目指す全国ハンドボール界の動向に期待を寄せたいと思います。

岡本貞彰氏談

初めて「車いすハンドボール」を観戦したが、プレーヤーとレフリーが一体感をもって、ゲームをスムーズに展開しているのが素晴らしい。これを基準にして、全国的にもまた世界的な競技として発展するためにも、日本協会は、障害者のための普及部門を設置して啓蒙すべき社会的使命を考えるべきだ。「車いすハンドボール」が他の全国大会の車いす競技に比べて、とらえ方が遅れている。長野オリンピックのスキージャンパー障害者誕生にみられるように、新時代の流れに遅れないよう日本協会はもっと広い視点で現状の課題を見据えた組織づくりの体制を検討してほしい。現在、リハビリテーション講座（京都社会福祉専門学校講師）を担当しているので大変参考になった。

藤本昇氏講評（京都府ハンドボール協会副理事長）

全員攻撃、全員防御で健常者のハンドボール競技と何ら変わらない。他府県からの参加が待たれるが、国体後の車いす国体に加入できるよう普及活動に広げなければメジャー化に発展することは難しい。全国都道府県ハンドボール協会理事長及びOB各位が障害者福祉課、障害者スポーツ協会等への働きも含めたご尽力を切にお願いし、第9回大会・平成10年11月29日（日）の参加を期待したい。

問い合わせ先：
京都市障害者スポーツセンター内
京都障害者スポーツ振興会
〒606　京都市左京区高野玉岡町5
Tel　075－712－7010

一般の部

3位決定戦
スーパースターズ
11　21
2
24　15
I
KSAC
HAND IN HAND
スーパースターズ

3位決定戦
サン・アビ城陽陸上部
10　1
④
サン・アビ城陽陸上部
林家一門

ANA CUP

第22回日本ハンドボールリーグ プレーオフのご案内

ハンドボール界最高のパフォーマンスの場として、毎回多くの話題を提供して参りましたプレーオフ大会を、今年も下記により実施致します。今回は、「ANA」の特別協賛による「ANA CUP」争奪戦に加え、タラフレックス・コートの設置、クロアチアからの世界トップレベルの審判招聘など、見所いっぱいで一層の盛り上げを図っております。多くの皆様のご観戦をお待ち申し上げております。

昨年のプレーオフから

大会名　ANA CUP
　　　　第22回日本ハンドボールリーグプレーオフ

主催　(財) 日本ハンドボール協会

主管　日本ハンドボールリーグ運営委員会
　　　第22回日本リーグプレーオフ実行委員会

特別協賛　ANA (全日空)

期間　平成10年2月28日 (土) 〜3月1日 (日)・2日間

日程

第1日　2月28日 (土)

15:00　プレーオフ・女子準決勝 (2位×3位) 17:00　プレーオフ・男子準決勝 (2位×3位)	〔TVK放映〕 18:30〜20:58

第2日　3月1日 (日)

13:30　プレーオフ・女子決勝 (1位×準決勝勝者) 15:30　プレーオフ・男子決勝 (1位×準決勝勝者)	〔TVK放映〕 18:30〜20:58

※あわせて、日本リーグ1部入替戦 (男女・1部7位×2部2位) を2月27日 (金) 〜28日 (土) の両日に行います。

開催場所　駒沢体育館・東京 (タラフレックス使用)

出場チーム　公式リーグ戦・男女上位各3チーム

TV中継　男女:準決勝、決勝、計4試合
　　　　(TVK−テレビ神奈川−によるゴールデンタイム録画放送)

入場料

【前売券】	アリーナ指定席		2,000円
	自由席	一般・大学生 中高生	1,700円 700円
【当日券】	アリーナ指定席		2,500円
	自由席	一般・大学生 中高生	2,000円 1,000円

※小学生以下自由席は無料
※前売り完売の際は、当日アリーナ席が無いこともあります。
　あらかじめ、ご了承ください。
※前売入場券は「チケットぴあ」(☎03−5237−9999) でお求めください。

お問合せ　日本ハンドボールリーグ運営委員会 (☎03−3481−2361)

勝負への執念が心を打つ

企画・広報委員
早川　文司

昨年の11月中旬、どでかいニュースが日本列島を駆けめぐった。日本サッカーが43年間も開かなかったワールドカップという門をこじあけた出来事である。第５回大会に初参加して以来10度目のチャレンジで悲願と言われ続けたチケットを手に入れた、新たな歴史の１ページと言えよう。アジア最終予選では史上初の監督交代劇、ファンの暴動事件まで起きるなど、崖っぷちに立ちながらの復活がいっそう感激と感動を呼んだ。

アジアで３つ目のチケットを争ったイラン戦は、死闘といってもよかろう。先手をとりながら逆転される苦しい展開。結果は延長Ｖゴール勝ち。ＴＶ中継をご覧になった方も多いと思うが、まさに日本が沸騰した１日となった。

あの戦いを皆さんはどう受け止められたろうか。私なりの印象を述べてみたい。

ひと口で言えば、勝負への執念、気迫をすごく感じた。２カ月におよぶタフな戦いの連続。極度の不振から一度はあきらめかけたほどのどん底も味わった。そうしたチームがどうだろう。まるで別人のように生まれ変わって「フランス」をつかんだ。

１敗も許されない精神的にも、肉体的にも極限の中で、１本の太い糸で固く結ばれ〝戦う集団〞になっていた。一瞬も気が抜けない命がけともいえる強い姿勢、粘りに粘る、どこまでも勝負をあきらめない粘りが、最後の最後までＶゴールを呼び込み〝悲願〞をたぐりよせたのではないだろうか。

こうした戦いは、ファンの心にいつまでも焼きついて離れないはずだ。語り草にもなるだろう。ちょう落傾向にあるＪリーグにも好影響を与えるだろうし、2002年の日韓共済W杯成功への強力な援軍にもなるはずだ。とにかく全国民の目を、改めてサッカーに向けさせたのは確かである。

ハンドボールも昨年の世界選手権熊本大会で多くの人々に感動と興奮を与えた。しかし残念ながら、今回の〝ミラクル・サッカー〞にはかなわない。脱帽せざるを得ない。

さりとて腕をこまねいていては発展はないし、普及・振興につながらない。やはり、日ごろからファンをしっかり意識した戦い、プレーを忘れないことだろう。〝戦う集団〞として気迫に満ちあふれた勝負への執念をコートで発揮するしかない。

要は「ファンのハートを強く打ち、つかみとるハンドボール」にもっともっとチャレンジすることである。面白く、スリリングな戦いは、必ず感動を与える。ハンドボール愛好者としては、サッカーに負けてもらいたくない。

1997 ヘッドレフェリーシンポジウム報告

トレーニングとレフェリーの関係の発展を通じての審判レベルの向上

ハッサン・ムスタファ（CCM委員長）
兼田佳博

国際連盟の5つの委員会は、ハンドボールを世界に広める基礎であります。

そしてこれは、各委員会が様々な専門分野において技能を向上させることを通じて起こります。残念ながら、昨年は各委員会が孤立して活動し、不完全な仕事をする結果となってしまいました。情報交換や有益な意見の交換が非常に困難なためにバラバラになってしまったあらゆる試合の基準を、新しく創り出すことは不可能ではありません。

それ故、発展したいという願望がありながら、委員会が孤立して活動することができないのは明白です。

したがって、トレーナー委員会は意見や情報や見解の交換のために、委員会同士が密に協力するという考えを取り入れ始めました。トレーナー委員会は、将来の試合における両委員会の重要性を影響とを見越して、レフェリー委員会と協力して困難な仕事に当たることを1992年のバルセロナで始めました。

技術面から見て、ハンドボールの試合はレフェリーとトレーニングの仕事の統合の重要性を示しています。どんな試合もレフェリーの役割と、トレーナーの役割との統合に基礎をおいています。さもなければ、専門的な仕事のバランスが失われてしまうでしょう。トレーナーとレフェリーの両者が、試合の決定要因である選手の技能を形成することに関与しているのです。

ですから、一定の同意に到達するために互いの協力と統合を完全にすることは、トレーナーとレフェリーの務めなのです。そしてこの統合の必要性は、試合でチームが新しい手法を使うときに、ますます増大します。この一定の同意は、地位と経歴が、トレーナーにとって生計と前途を意味するだけでなく、試合の得点に直接の影響を持っていることを確認するのに役立つでしょう。ところが一方、レフェリーをすることは、レフェリーにとって趣味であることを象徴しているに過ぎません。

これまで示唆した事はすべて、トレーナー委員会とレフェリー委員会の仕事の統合と協力の重要性を明らかにしています。最も重要なのは、すべての防御と攻撃の状況、そして手法を包括したある決まった方法で慣例の問題を検討するための協力です。それはまた、選手とトレーナーにレフェリーの判断を受け入れさせ、異なった立場であっても全く問題のない雰囲気の中で、試合を進めさせます。

この競技の雰囲気が、選手が新しいものを取り入れ、楽に試合を進めることを助けます。それが結果的には、観客が試合を楽しむことを助けるのです。トレーナーにも、レフェリーにも選手にも、そして試合にも良い効果をもたらすのです。トレーナー委員会とレフェリー委員会は、さらなる取り組みを試みています。

1　委員会の委員長とメンバーによる継続的な会合。

2　標準の開発を調整するための委員会の設立。

3　トレーナー委員会とレフェリー委員会で、重要な選手権の前にプログラム（ミニコース）を設け、それに参加すること。

4　世界選手権とオリンピックの試合の最中、および試合後のレフェリーの技能の評価。

5　トレーナーと審判長との間の会議を4年ごとではなく2年ごとに調整すること。

6　種々の選手権の前に、レフェリーとトレーナーの間で会合を設け、昼食または夕食を共にしながら意見を交換する。

そのために我々は以下の提案をします。

レフェリーは試合の結果に責任ある役割であり、特に国は何百万ドルもを自国のチームに費やしているため、万が一、レフェリーが競技の正しい規則を理解していない場合、その誤った判断が多くの問題を引き起こす事になります。

したがってIHFは審判活動とレフェリーに対する補助金を引き上げるべきだと考えます。

1　レフェリーのためのナショナルチームの設立

世界選手権とその予選は、異なった学校や大陸で、様々な見識と様々な規則の解釈を身につけたレフェリーたちによって審判されます。それは、それらレフェリーたちの間に多くの矛盾があるということです。トレーナー委員会は、36名を定員とするジュニア・レフェリー・チームの設立を提案しています。

ヨーロッパから12名・アジアから8名・アフリカから8名・アメリカから6名・オーストラリアから2名

このチームをインターナショナル・レフェリー・チームと名づけてもよいでしょう。インターナショナル、コンチネンタル、そしてナショナル連盟はこのプロジェクトへの融資に参加することができます。

このチームは一定の同意を打ち立てる準備とトレーニングの過程を経験します。彼らは世界選手権とオリンピックにおいて、コンチネンタル（大陸）予選の審判を行います。これらのレフェリーは国内およびコンチネンタル（大陸）連盟の決定により選考されます。その決定はインターナショナル・レフェリー委員会にも適用されます。通常の会合に加えて、トレーナーと専門家を交えた会合がIHFにより彼らのために準備されます。

これにより、我々は技術面および、レフェリーの適正の向上を保証するものです。それにはまた、レフェリー同士が協力すること、そして年間を通じて仕事をすることが必要です。

2　個々の審判活動

我々は、審判活動はレフェリーコースの変化に基づくべきであると提案します。しかし、個々のレフェリーが常に他の多くの違うレフェリーと共に仕事ができるように運営すべきです。

これは、審判活動に参加する上

で様々な組み合わせに慣れるためです。なぜなら多くの場合、カップルのレフェリーのうち一人が、老齢、病気、けが等の理由で引退を余儀なくされると、一般的なあるいは特別な仕事の現象という事情によって、もう一人の方も引退しなければならないからです。また、ある国で一人のレフェリーが抜きん出ており、他には誰もいないとき、このレフェリーが国際試合に参加して審判をする機会は失われてしまいます。

私はこれまでに述べた理由から、世界選手権の決勝戦とオリンピックにおいては、特に、ペアシステムの廃止を広く提案します。この場合、決勝戦では国籍に関わらず最も優秀なレフェリーのペアを作る方がよいのです。

これに言及する事は大変重要です。すなわち決勝戦、世界最強のチームの最高のプレイは、大勢の観衆の前で、とりわけ大統領、国王、首相といった指導者たちの前で放送されるということが知られていれば、それらの重要な試合には世界でもトップレベルのレフェリーを起用して放送されることが必要です。

このことは我々が最も優秀な個人のレフェリー、そしてペアを選出することでのみ可能になります。

最後に聞いてくださった皆様に感謝します。また、この会合の開催を快く引き受けてくださったオーストリア連盟の委員長、そして役員会のメンバーの皆様の暖かいもてなしに感謝したいと思います。

さらに、盟友であるレフェリー委員会の委員長、シュタイン・バッハ氏と、メンバーの皆様、そしてレフェリー委員会の前委員長エリック・アリエス氏に、我々に相互交流の機会を与えてくれた事に対し、ハンドボールの未来の成功と繁栄をお祈りして、感謝の意を表したいと思います。

シャトルラン・テストの説明

（翻訳・文責）ルール研究委員会委員　清水宣雄

テストの目的

ランニングのテストが集まった、このテストによって、基本的な持久力と有気的、無気的能力の限界値（有酸素・無酸素性作業閾値）が測定される。

テストに必要な物

・メジャー（20m）、ストップウォッチ（1、2個）
・参加人員分の心拍モニター
・乳酸値を測定するための器具
・テストで正確なスピードを教えるための、オーディオ・カセットかコンピューター・プログラム
※オーディオ・カセットの利点は、カセット・プレイヤーさえあれば、様々な場所において非常に簡単に使用できることである。不利な点は、テープが伸びてしまう可能性があり、不正確になってしまうことである。コンピューター・プログラムの利点は、非常に正確であること、不利な点は、そのようなプログラムを購入しなければならないことである。

テストの準備

・テスト開始前、堅い床面（体育館など）の上に、20mのゾーンを測定し、印をつける。
・被験者に心拍モニターをつける。
・被験者は10分程度ウォーミングアップをするべきである（低い強度でゆっくり走ったり、ストレッチをする）。

テストの仕方

最初のレベルは7km／hの速度で始め、被験者は、同じ速度を20m維持する。20mゾーンの端では、向きを変えるとき、印の上か、向こう側に、片足を置かなければならない。小さい円でぐるりと向きを変えてはならない。

各々のレベルは、3分間続ける。血液サンプルを耳たぶから採り、心拍数を記録する。1分30秒の休憩の後で、次のレベル（8km／h）を始める。

被験者のコンディションに影響されるので、この手順を4・5回するべきである。乳酸値によって成績を表すためには、4つのレベルが、必要である。4番目のレベルの後でも、無気的能力の限界値に達しない場合にのみ、5番目のレベルが必要となる。最大負荷テストではない。

テストの評価

無気的能力の限界値（無酸素性作業閾値）（4mmol／l）が持久力のレベルを示している。最後のレベルは完了されないが、各々のレベルの終わりに、乳酸値を測定するため、僅かな血液サンプルを耳たぶから採る。これらの値は、図に表される。

テストの重要なデータ

レベル	走る速さ（km／h）	各々のレベルを維持する時間（分）	休憩の時間（分）	走る距離（20m）の反復回数	20mを走るのに要する時間（秒）
1	7	3	1.5	17.5	10.3
2	8	3	1.5	20.0	9.0
3	9	3	1.5	22.5	8.0
4	10	3	1.5	25.0	7.2
5	11	3	1.5	27.5	6.5

シャトルラン・テストのためにテープを使用する際の注意

テープレコーダーが正確であるのを確かめるために、テープ上に、チェック音を入れる。1／2秒以内のズレは許される。もしズレが大きいならば、テープレコーダーの速度を調整するか、走る距離を適合させる。

走る距離を適合させるには、次のようにする。

$S = 20 \div t_1 \times t_2$

S＝適合させる走る距離（m）
t_1＝2つのチェック音の間の正確な時間（例えば、7km／hでは10・3秒）
t_2＝使用するテープレコーダーで測定した2つのチェック音の間の時間（テープレコーダーの回転ムラによる誤差が含まれている）

簡易ハンドボール指導の実践報告書

福井県福井市足羽小学校
五十嵐隆美

1 単元名・ハンドボール

3年1クラス、5年3クラス、6年1クラス

2 児童の実態

ハンドボールは知っているが、見たことがあるのは半数以下。経験者はクラブの児童を除いて、ほとんどいない。

3 種目の特性

〈サッカーとの比較〉

・ボールを手で扱うため、パスやシュートの上達が早い。・ボールが小さく扱いやすいので、密集状態を早期にクリアできる。

・コート外にボールが出ることが少なく集中力、緊張感が持続する。

〈バスケットボールとの比較〉

・身体妨害可でゲームの中断が少ない。・歩ける歩数が多い。・ゴールが大きくキーパーがいる(→シュート方法の違い)。・ドリブルよりもパスが中心なので、多くの児童が触球可能。・片手でボールを扱えるのでプレスされた局面から脱しやすい。

〈技能について〉

・ドッジボールの経験から、胸やおなかのあたりでボールを抱えるような取り方が見られる。・シュートがキーパーの正面にいきがちである。・ジャンプシュートの場面で利き腕と同じ側の足での踏切が見られる。

〈戦術面について〉

・コートを広く使った戦術が可能。

・攻撃や守りでのポジションや役割が明確で作戦が立てやすい。

〈運動量について〉

・全身を使ったシュートで運動量あり。

4 研究の視点

ハンドボールを知り、楽しくゲームをすることができる。

5 教材化の工夫

〈ボール〉

・小学校用ハンドボール1号球と柔らかいスポンジ製のボールを使用。・キーパーの恐怖感を取り除くことができ効果的。・弾みにくいためドリブルが減少し、多くの児童にパスが回る。

〈コート〉

・校庭では、正規の小学生コート2コートを使用。・体育館では、全面に1コート、横に区切った2コートの場合、シュートのラインは5メートル。

〈ゴール〉

・正規のゴール一組。・180センチの高さにゴムを張った高跳びのスタンド(固定)。・簡易ゴールは縦180センチ、横270センチ、金属のパイプ製、軽量化。材料費はネット別で一組16000円弱。

〈ルール〉

・身体接触を少なくする。・フリースロー、ダブルドリブル(キャッチミスをした場合)なし。・ゲーム中キーパーの交代は自由。

〈パスゲーム〉

・ボールに慣れ、密集状態をなくすことが課題。・敵味方4人ずつで、パスが何回続けられたかを競う。・コートから出たり、相手に取られたら攻守交代。パスの1本目はとらない。

〈7メートルスローコンテスト〉

・キーパーとの1対1。・防御率、シュート率を競う。

〈ミニゲーム〉

・1チームキーパーを含め4~5人。

〈ゲーム〉

・男女別1チーム8人。・体育館1面を使用。・ポジションを決め、役割を明確にした。

6 学習指導計画(表1参照)

7 実践結果

〈技能面〉

◎キャッチ:正しい取り方の指導と準備運動の中での繰り返し練習の結果、徐々に直っていった。

◎シュート:ゴールの角にタグロープをつるす。特に女子は、歩数をあまり意識せずに自由にシュートを打たせた方が足が合わ

せやすい。

〈課題ゲーム〉

◎パスゲーム：パスやキャッチの技能向上およびスペーシングに効果大。運動量も確保でき、児童にも好評。

◎7メートルスローコンテスト：一度はキーパーを経験でき、競う楽しさあり。

〈ミニゲーム〉

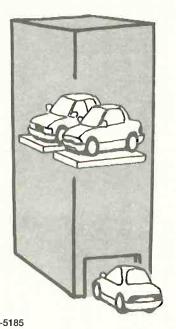
・多くの児童にボールが回る。コートが小さく、キーパーや守りの技術が未熟なため、遠くからシュートして簡単に得点。速攻の戦術ができなかった。

8 今後の課題

低学年の段階での簡易的なハンドボールが必要。中学年から系統立てて指導すれば、より充実した授業を組み立てられたと考える。

3年でも取り組んでもらったが、正規のハンドボールでも好評であった。

表1　学習指導計画（8時間配当）

時間	ね　ら　い	学　習　内　容
1	・ハンドボールの特性を知る。 ・パス、キャッチ、シュートの方法を知る。	・基本的なルールを知る。 ・コート、ポジション、ゲームの進め方を知る。 ・パス、キャッチ、シュートをする。
2	・ゲームの進め方を知る。	・チーム編成（教師主導） ・ポジションを決める。 ・ためしのゲーム（8対8）（男女別）
3	・個人の技能を高める。	・PSコンテスト （パスは準備運動に入れる）
4	・個人の技能を高める。	・パスゲーム ・ジャンプシュート練習
5	・ミニゲームの方法を知る。	・ルールについての再確認 ・チーム編成 ・ミニゲームをする
6 7 8	・個人の技能を高める。 ・楽しくゲームをする。	（前半） ・チームで選択した課題ゲーム （後半） ・ミニゲームをする。

アンチ・ドーピング No.3

医科学委員長　西山　逸成

1　ドーピングとは?

ドーピング（Doping）とは、選手個人のもっている競技力以上の力を発揮するためにIOC（国際オリンピック委員会）で禁止されている物質（薬品等）を使用（服用等）することである。

何故ドーピングが悪いことか?については、身体に悪い、スポーツマンとしてアンフェアであるという、つまり健康とスポーツ倫理の二面からアンチ・ドーピング（Anti・Doping）の基本的理念の一つとなっている。

2　日本ハンドボール界のアンチ・ドーピングとの取組み

日本ハンドボール協会としては、Anti-Dopingの一環として、ナショナルチームが世界選手権大会等に出発する前に、Doping・Controlを主体にした基本教育を実施している。今回はNA女子及びJr。NA女子選手の質問内容から現場に即したいくつかを取り上げて、Q&A方式で読者の皆さんに紹介することにした。

それらの質問の中で感じたことは、〃薬剤の使用はすべて悪いことであり、風邪薬も服用できない、②スポーツ外傷・障害の治療に鎮痛剤も使用できない、③生理痛時の治療薬さえも使えない等薬品類は一切使えない〃との認識を抱いているようであった。

そのような受け取り方は誤りであり、たとえ薬品であろうとも、選手の疾病も一日でも早く回復し健康水準を保つことが、選手としてトップコンディションを整えるための必須条件であることは言うまでもないことである。

したがってIOCでは、ドーピング物質と傷病等の治療に使用することできる薬品リストを区分して示しているわけである。

3　チームドクターの立場

治療として薬品を使用した場合には、チームドクターが世界選手権大会等組織委員会医事部に定型様式（ハンドボール機関誌1997年10・11月号）で報告することになっているし、ドーピング検査時には、採尿終了後に選手は72時間（3日間）以内に服用した薬品名を質問されることになっている。

勿論チームドクターが選手に付き添っているので、チームドクターが回答してもよい。以上の過程に対応するためには、チームドクターは、選手の大会等参加時に選手の携行・使用薬品及び疲労回復・予防のため常用している選手が多いビタミン剤等すべてのリストを把握しておくべきである。制限薬物使用時の事前申告のためのリストも大会参加時に確認する必要がある。

4　ドーピング違反例（表1）

過去日本選手が風邪薬「新ルルA」を3日間服用した結果、ドーピング検査（エフェドリン検出）で出場停止となった。すなわち、知らずして自分自身が服用した。また欧米によくみられるプロ・フットボール選手がコーチから筋肉増強剤（ステロイド）を服用させられた。あるいは、選手自身が知らないうちに他チーム選手等から不正操作をして尿を取り替えられた結果禁止薬物が検出された。これらの例はいずれも逃れることのできない違反例である。

今後は選手が自分自身を守るためにも、ドーピング・コントロール及びアンチ・ドーピングに対し、無防備・無知であっては日本のハンドボール界にとっては、不幸なことになろう。

以下、アンチ・ドーピングの基礎的な知識やドーピング・コントロールの実際の流れ、さらには栄養ドリンク等についてのQ&Aを紹介しよう。

アンチ・ドーピング（ドーピング・コントロール）についてのQ&A

■基礎知識

Q1　ドーピング行為（禁止の興奮剤使用）によって必ず好成績が得られるのか?

A1　ドーピング（Doping）の定義（1963年ヨーロッパスポーツ評議会）としては、「生理的に体内に存在しない物質や、たとえ生理的物質でも量的に異常であったり、異常な方法で投与または使用した場合をドーピングという。また物質のみならず、〃心理的手段〃として催眠術などを行った場合も違反」とされたが、現在では証明困難なため削除されている。

Q2　たとえ好成績が得られても、ドーピング検査結果、違反として制裁を受けるのに、何故禁止物質の使用者がいるのか?

A2　罰よりも勝利者になりたいから生体内に生理的に存在する物質（ホルモン・酸素・ビタミン他）を異常な量・方法で投与したり、又は、生理的に存在しない物質を投与して選手やスタッフが競技力を高める目的で行ない問題となっている。（国際スポーツ評議会・1963年11月）

Q3　スポーツ選手にアンチ・ドーピングの知識が備わっていないのではないか?　スポーツ関係者は競技ルールと同様にどのような知識をもてばよいか。

A3　治療や疲労回復等の目的のために物質を与えた場合でも、その物質の量・性質によって競技力を高めると考えられる場合もドーピングと判定されること。そして麻薬・覚醒アミン・ストリキニネ・アルカロイド・エフェドリン・強壮剤・呼吸興奮剤・ホルモン等をドープ（Dope）とされている（マドリード・スポーツ評議会）ので服用にあたっては報告や許可条件のな規則の適用が必要（スポーツとドーピング、雨宮他）であること等である。

警鐘としてドーピングの人体への悪影響の例を紹介しよう。（表2）

「陸上」例

1967年7月13日　トム・シンプソン（英）―アンフェタミン…死亡

1997年4月10日　ヒルジット・ドレッセル（西独）―メチルアンフェタミン…死亡

Q4　世界選手権大会で、ドーピング・コントロール（ドーピング・テスト）が実施されることがわかっているのに、何故チームスタ

ッフが疲労回復や活性化のために選手にビタミン剤やドリンク等を服用させるのか？

A4 チームスタッフは、好成績への狙いから、わらをもすがる気持でビタミン剤やドリンク類を選手に与えているのであろう。

①意技意欲向上・疲労感軽減—中枢興奮剤（メチル・マンフェタミン）
②持久力増加—麻薬・鎮痛剤（モルヒネ・コカイン）
③あがり抑制—中枢抑制剤（トランキライザー・ポルピツール）
④筋力増強—アナボリック・ステロイド（蛋白同化ステロイド）

今後は選手・スタッフ共々戒めあっていく必要がある。

■選手抽出・違反

Q5 ドーピング検査の実施選手の抽出に何故「くじ引き」をするのか？

A5 「くじ引き」の方法はあくまでも公正を期するための方法である。「くじ引き」の抽選者は、選手と同一チームのスタッフ（大会に公式に登録されているチームドクター他）が同チームの選手の誰かを引き当てることになる。

Q6 違反物質をまったく使用していないA選手のドーピングテスト結果がたとえ合格であっても、同チームのB選手が明らかに違反物質を常用していることがチーム内で解っていてもB選手は検査を受けなければ違反者とならない。

A6 たとえB選手が違反物質を常用していてもドーピング検査を受けない限り、違反者にはならない（悪い者勝ち）→故に「くじ引き」抽出された選手以外にDCT（ドーピング・コントロール・チーム）スタッフ（IHF／MC）が疑わしい選手を追加指名抽出することがある。→規定されている。

Q7 ドーピング検査結果、違反者のみが出場停止なのか？ チームが出場停止なのか？

A7 違反者が認められた場合、物質の種類、違反回数、競技進行状況等で期間は一定ではない。
(1)違反者・役員：3ヶ月～2年間
(2)チーム全体：最大4年間

■生理期間時

Q8 生理痛時に市販薬の服用が許される条件は？

A8 常用している市販薬リストを医科学委員会に申告し、チームドクター共に安全を期すること。

Q9 生理期間中の選手はドーピング検査から除外されるか？

Q10 生理期間中の選手のドーピング検査のために、選手用の下着がドーピング検査室に準備されているか？

A9・10 生理中の選手でもドーピング・コントロールの対象外ではない。したがって競技出場時に下着等の準備は選手個人の衛生管理事項としてDCS・検査室には準備されないのが通常である。

■栄養ドリンク

Q11 現在、リポビタンDを常用しているがドーピング検査には安全か？

A11 避けるべきである。ドリンク剤の効果として飲むと効果がある、疲労感が少ない。すなわちドリンク剤を常用することは、精神的依存すなわち、ドーピングの心理といえよう。常用OKといえるドリンク剤はないと考えて欲しい。

Q12 飲用の安全なスポーツドリンクのリストは？

A12 日常飲用しているコーラ、牛乳等の清涼飲料水（食品）は、ドーピングコントロール室にも用意されており、薬効成分は含まれないので問題ない…とされている。

Q13 もし安全でないとしたら検査期間の何日前に飲用中止したらよいか？ 今後とも疲労回復のために飲用を継続したい。

A13 ポカリスエット、ゲータレード等のスポーツドリンクは激しい発汗後は効果があるとされているが積極的理由とは言えない。

Q14 コーヒーのカフェイン（眠気さまし—興奮作用）の安全量は？

A14 コーヒーの多量飲用はドーピング薬物（興奮剤）として禁止されているカフェイン（眠気さまし・興奮作用）が含まれているので、多量は避けるのが望ましい。

またアルコール濃度1%以上は「酒類」であるので注意が必要（スポーツジャーナル、1997年6月号、P16、17、野田）。

Q15 漢方薬など、検査期間の何日前に服用停止すれば安全か？

A15 漢方薬でも当然ドーピングとなる。日本内外で広く飲用されているのは改源（カイゲン）、葛根湯（カッコントウ）があり、副作用（肝炎・黄疸他↓カイゲン、血圧上昇他↓カッコントウ）が生じてくる（スポーツジャーナル、1997年4／5月号、P16、17、太田他）。

■検査実施時

Q16 ドーピング検査実施前にシャワーを浴びてよいか？ ドーピング検査を以前受けた時、検査室にはトイレしかなかった。

A16 同性の誘導係員（エスコート）の許可と監視下で浴びることができる。シャワー・トイレは同室に設けられることが規定されており（IHF規程5—2条）、DCSスタッフのエスコートが採尿・シャワーを直接監視するようになっている。

DCSにトイレだけの場合、チーム更衣室を利用できる。その際、選手抽出からDCS到着まで60分

間の時間制限内の行動が要求される。

Q17 ドーピング検査時に排便したくなったらどうするか？

A17 排便は排尿をも促すとの要望は、よくある現象であり採尿トイレを利用することになる。

■国内実施

Q18 日本国内大会等でドーピング・テストの実施予定はあるか？

A18 日本ハンドボール協会としては、次のような内外の状況から近い将来ドーピング・コントロール（ドーピング検査）の試行実施を検討している。

(1)日本体育協会、日本オリンピック委員会は既に日本国内全競技種目団体に呼びかけて、シドニーオリンピック（2002年）を節目として、各競技種目団体ごとに計画・実施することを呼びかけており、平成9年度は13競技種目団体が実施予定になっている。

(2)男女のナショナルチームが世界選手権大会等の国際大会に参加する場合には、当然ドーピング検査の実施対象となり、選手のみならずチームスタッフも選手の傷病に対する予防、治療のためにもアンチ・ドーピングへの対応は避けられない。

(3)日本ハンドボール協会としては、平成8年5月男子世界選手権大会で2週間の大会期間中、予選リーグ、決勝トーナメントを通じて、78選手のドーピング検査を組織・実施してきた。

ドーピング・コントロール・チーム（DCT）の組織は、国際ハンドボール連盟（IHF）医事委員会（MC）、日本ハンドボール協会医科学委員会及び熊本組織委員会で構成された。

(4)さらに強化委員会、医科学委員会では、平成8年度以降、アンチ・ドーピング規程作成や試行実施の研究討議を重ねている。

(5)1997年12月女子世界選手権大会（ドイツ）では、IHF／MCの4名（オランダ、ドイツ、ノルウェー、パキスタン）がドーピング・コントロール担当となっている。

当面、アンチ・ドーピング対策としてナショナルチームの国際大会派遣前に事前講習会を実施して安全を期している。

〈参考資料〉

1 ハンドボール機関誌、No.379（1997年10月号）：男子世界選手権大会におけるドーピング・コントロールについて（西山）
2 ハンドボール機関誌、No.380（1997年11月号）：アンチ・ドーピングQ&A（西山）
3 IOCアンチドーピング規程
4 IHFアンチドーピング規程
5 「ドーピングの現状・現実を語る」ブックハウスHD、1990年3月
6 日本ハンドボール協会規程

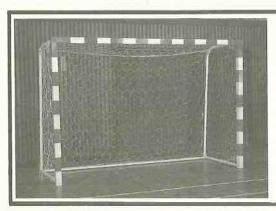
表1　日本選手のドーピング事例（スポーツジャーナル1997.7、福島、武藤）

年	性	種　目	大会名等	理由・背景	使用薬剤(使用薬物分類)	処　分
1996	男	陸上	抜打検査	本人・コーチ否定	メチルテストステロン（タンパク同化剤）	4年間資格停止
1996	女	ハーフマラソン	東京シティハーフマラソン	風邪で前夜「葛根湯」を服用	エフェドリン（興奮剤）	3位順位取消 記録抹消 3ヶ月間資格停止
1996	女	ハーフマラソン	札幌国際マラソン	禁止薬物使用していない	フロセミド(利尿剤)	資格停止3ヶ月
1989	女	スキーアルペンスーパー大回転	ジュニア大会	風邪薬として服用	塩酸メチルエフェドリン 無水カフェイン 新ルルA錠(興奮剤)	失格 9ヶ月間国際大会出場停止
1984	男	バレーボール	ロスオリンピック	風邪薬として服用	①エフェドリン－葛根湯（興奮剤） ②テストステロン（タンパク同化剤）	風邪薬を手渡したトレーナーが処罰 資格停止→退場
1964	男	近代五種	東京オリンピック	「あがり」予防のため使用	アルコール(精神安定剤)	記録抹消

表2　外国選手のドーピングの人体への悪影響(例)

発生年月	性	選手名－国名	種　目	禁止薬剤－使用薬物分類	事故・副作用
1967.7.13	M	トム・シンプソン(英)	陸上	アンフェタミン	死亡
1997.4.10	W	ヒルジット・ドレッセル(西独)	陸上	メチル・アンフェタミン(興奮剤) 400回注射(1981～1987)	死亡
		クリスチーネ・クナッケ(東独)	水泳	ビタミンE、プロテイン アナボリック、ステロイド (タンパク同化剤)	骨：クリスタル状(右肘3回手術) 女児出産(高熱・ホルモン不均衡)
1986	W	自転車600km(英)	自転車		死亡
1956	M	自転車(メルボルン)	自転車	ストリキーネ(興奮剤)	けいれん
1960	M	自転車(デンマーク)	自転車	アンフェタミン(興奮剤)	死亡
	M	ベン・ジョンソン(カナダ)	陸上 (100M)	蛋白同化ステロイド(タンパク同化剤) フラザボール(furzabol)	男：性機能低下 (精子減少、睾丸機能抑制) 女：女性胎児の男性化、多毛、シワガレ声
1956～1964	M	ワノリー(アメリカ)	陸上	(蛋白同化剤)	心臓、肝臓疾患

平成9年度　県別登録一覧表

都道府県	一般L		一般A		学生		高専		高校		中学		小学校		混合		リージョナル		合計	
	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数
北海道	0	0	22	282	26	379	1	19	59	935	0	0	0	0	0	0	8	115	116	1730
青森	0	0	15	233	4	44	1	24	24	384	2	33	0	0	0	0	0	0	46	718
岩手	0	0	15	225	5	61	1	28	46	976	30	818	0	0	1	19	10	141	108	2268
宮城	0	0	9	108	11	195	2	38	50	1056	19	458	0	0	0	0	1	15	92	1870
秋田	0	0	6	105	4	45	1	20	12	264	4	116	1	20	0	0	0	0	28	570
山形	0	0	6	85	1	24	0	0	20	367	0	0	0	0	0	0	0	0	27	476
福島	1	14	11	162	5	54	0	0	40	639	29	718	0	0	0	0	0	0	86	1587
茨城	0	0	11	164	6	84	0	0	65	917	42	1011	2	42	0	0	12	157	138	2375
栃木	1	17	6	88	2	27	0	0	22	358	20	506	0	0	0	0	1	13	52	1009
群馬	0	0	8	122	1	18	0	0	20	353	16	394	0	0	0	0	4	56	49	943
埼玉	2	40	22	343	6	76	0	0	113	1763	38	847	0	0	0	0	1	10	182	3079
千葉	0	0	13	171	10	177	0	0	66	920	39	605	1	17	2	33	15	231	146	2154
東京	3	52	16	273	42	740	2	17	179	1909	0	0	0	0	0	0	44	796	286	3787
神奈川	0	0	18	265	11	174	0	0	173	2514	75	1140	0	0	0	0	32	472	309	4565
山梨	1	26	8	126	5	83	0	0	34	536	0	0	2	35	0	0	8	127	58	933
新潟	0	0	6	77	4	79	1	15	12	231	0	0	0	0	0	0	1	11	24	413
長野	0	0	10	148	1	15	0	0	25	401	12	273	0	0	0	0	1	14	49	851
富山	1	19	10	129	4	47	1	13	39	595	23	704	0	0	0	0	0	0	78	1507
石川	1	20	9	152	3	48	1	10	27	474	0	0	0	0	0	0	1	10	42	714
福井	1	16	5	61	3	36	1	24	20	334	9	206	3	38	0	0	1	12	43	727
静岡	0	0	14	200	4	61	1	20	49	958	4	160	0	0	0	0	2	18	74	1417
愛知	5	90	16	244	24	446	1	24	268	7754	185	4520	2	44	2	61	50	509	553	13692
三重	2	42	15	204	2	17	2	30	38	534	30	684	6	67	0	0	0	0	95	1578
岐阜	0	0	16	233	6	73	1	27	66	1204	57	1341	0	0	0	0	2	26	148	2904
滋賀	0	0	9	135	3	41	0	0	25	478	16	483	0	0	0	0	0	0	53	1137
京都	0	0	12	168	11	136	1	16	48	710	0	0	0	0	0	0	14	155	86	1185
大阪	2	33	11	172	31	437	1	15	140	1697	0	0	0	0	0	0	1	14	186	2368
兵庫	0	0	13	177	15	195	1	19	101	1611	30	737	0	0	0	0	10	135	170	2874
奈良	0	0	10	126	6	74	1	17	31	456	24	345	2	21	0	0	0	0	74	1039
和歌山	0	0	7	99	2	23	1	19	27	374	20	478	0	0	0	0	0	0	57	993
鳥取	0	0	4	55	0	0	1	19	15	224	2	35	0	0	0	0	0	0	22	333
島根	0	0	3	42	1	14	1	14	12	203	0	0	1	32	0	0	0	0	18	305
岡山	0	0	15	209	7	92	1	20	58	1038	17	402	0	0	0	0	2	30	100	1791
広島	3	51	6	96	6	91	0	0	23	366	13	291	2	41	0	0	9	139	62	1075
山口	1	16	15	199	2	28	2	34	37	746	23	547	0	0	0	0	1	14	81	1584
香川	0	0	4	61	4	51	0	0	26	421	27	505	2	32	0	0	0	0	63	1070
徳島	0	0	2	39	5	51	0	0	10	148	1	2	0	0	0	0	0	0	18	260
愛媛	0	0	7	123	3	35	0	0	38	787	0	0	0	0	0	0	0	0	48	945
高知	0	0	6	88	2	21	1	14	18	274	10	170	0	0	0	0	0	0	37	567
福岡	0	0	10	147	17	311	2	46	56	957	0	0	0	0	0	0	0	0	85	1461
佐賀	1	14	6	74	0	0	0	0	11	177	5	104	4	105	0	0	0	0	27	474
長崎	0	0	6	93	2	22	0	0	29	560	21	432	4	52	0	0	0	0	62	1159
熊本	2	42	4	69	5	55	2	36	54	1013	42	849	10	214	0	0	17	252	136	2530
大分	0	0	6	79	2	22	0	0	19	326	10	170	14	182	0	0	3	43	54	822
宮崎	0	0	4	52	2	25	1	22	33	484	10	197	13	196	1	34	6	97	70	1107
鹿児島	1	16	4	56	3	48	1	17	41	706	12	266	0	0	1	15	9	130	72	1254
沖縄	0	0	12	191	5	75	0	0	62	1227	49	1206	10	195	0	0	20	286	158	3180
合計	28	508	463	6750	324	4850	34	617	2381	41359	966	21773	79	1333	7	162	286	4028	4568	81380

お知らせ
公認コーチ開催予定

(財)日本ハンドボール協会では、平成10年度に公認コーチ養成講習会を開催する予定です。公認コーチは、C級よりA級に分かれ、競技力向上に携わる指導者を国が認定するものです。教科内容は、専門教科と共通教科に分かれ、専門教科は、日本ハンドボール協会と日体協が主催で行われます。専門教科の細部については決定を致しておりませんが、このほど日本体育協会より、平成10年度の開催予定が発表されましたのでお知らせいたします。

■受講の流れ

受講内定通知（4月上旬9／受講申し込み（5月23日まで9／決定通知（6月中旬9／共通教科前期集合教育（8月から9月9／通信教育／共通教科後期集合教育（11月から12月9／専門教科集合講習会

共通教科集合教育は、全国6会場、4泊5日で行われます。受講者の都合にあわせて計画をして下さい。

お問い合わせ、質問については日本協会指導委員会まで。

2月度行事予定

2月6日(金)～8日(日)／全日本実業団チャレンジ98（千葉県・市原市臨海体育館、出光興産体育館）

2月27日(土)～3月1日(日)／第22回日本リーグプレーオフ（東京駒沢体育館）

2月7日(土)／第3回理事会

2月21日(土)／第2回評議員会

■2月度日本リーグ日程（一部のみ）

2月1日(日)
（男子）中村×大同（船橋）
（男子）本田×三陽（岐阜）
（男子）湧永×日新（広島）
（女子）ジャスコ×日立（岐阜）
（女子）イズミ×北国（広島）

CONTENTS 2月号

求職情報

私はHermundur Sigmundsson、33歳です。体育学の修士号を持ち、1998年４月に人間運動科学の博士課程を終了する予定です。

私は大学の教職課程とスポーツサイエンス／人間運動科学学部で５年間教師として働いてまいりました。

私は98年７月１日から日本でプロのコーチのポジションを得られることを期待しています。協力して頂けるいくつかの大学と連絡をとれれば幸いです。

私はアイスランドのナショナルチームとアイスランドとノルウェーの精鋭クラスでプレーしてきました。コーチ歴は10年です。

1983　83/08/01－86/07/31　アイスランドジュニアチームStjarnannFCコーチ
1989　89/08/01－90/07/31　ノルウェー１クラスBodoHKコーチ
1990　90/08/01－92/04/01　ノルウェーSkogn　ILコーチ
1992　92/08/01－93/07/31　アイスランドElite for Selfossコーチ
1993　93/08/01－　ノルウェー女子１クラスFurnes IFコーチ
1994　94/08/01－95/07/31　ノルウェー女子２クラスElverum ILコーチ
1995　95/08/01－96/04/30　ノルウェー男子２クラスHeimdal IFコーチ　リーグ優勝
1996　96/05/01－95/05/01　ノルウェー男子１クラスHeimdal IFコーチ　リーグ優勝(すべてハンドボール)

履歴

氏名：Hermundur Sigmundsson
出生地：1964年７月20日、アイスランド／レイキャビク
住所：職場　ノルウェー科学技術大学NTNU
Idrettsvitenskapelig Institutt
電話：47-73590617
自宅　Moholt Alle 30-12,7035 Trondheim
電話：47-73888555

大学での履修内容、発表論文、出版物等詳細については日本ハンドボール協会までお問い合わせ下さい。

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

HAND BALLS

国際公認球

アデランテ 前進

ホワイト／ブラック

ホワイト／ピンク

PKCH3-AD ¥4,600

検定球3号，国際公認球，アデランテ，手縫い
一般・大学・高校・男子用，天然皮革
パキスタン製

PKCH2-AD ¥4,500

検定球2号，国際公認球，アデランテ，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
天然皮革，パキスタン製

ホワイト／ブラック

ホワイト／ブルー

ホワイト／ブラック

ホワイト／ピンク

PKCH3-BS ¥4,000

検定球3号，ビッグシュート，手縫い
一般・大学・高校・男子用，人工皮革，
パキスタン製

PKCH2-BS ¥3,800

検定球2号，ビッグシュート，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
人工皮革，パキスタン製

PKCH3-SRT ¥5,600

検定球3号，スエルテ，48枚パネル，手縫い
一般・大学・高校・男子用，天然皮革
パキスタン製

PKCH2-SRT ¥5,500

検定球2号，スエルテ，48枚パネル，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
天然皮革，パキスタン製

PKCH3-ADR ¥2,800

練習球3号，アデランテ，　手縫い
一般・大学・高校・男子用，合成ゴム
パキスタン製

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

本　　社／〒733 広島市西区楠木町3丁目11-2 TEL082（237）5145
東京営業所／〒111 東京都台東区松が谷1丁目5-14 TEL03（3843）4671
大阪営業所／〒543 大阪市天王寺区東高津町1-6 TEL06（761）8441
大阪物流センター／〒577 東大阪市西堤本通東3-4 TEL06（781）4845
広島営業所／〒733 広島市西区楠木町3丁目11-2 TEL082（237）4772
名古屋営業所／〒460 名古屋市中区千代田2丁目24-8 TEL052（251）2381
福岡営業所／〒812 福岡市博多区東比恵4丁目12-9 TEL092（431）6950
仙台営業所／〒984 仙台市若林区卸町東4丁目1-8 TEL022（288）2361

私たちにNOという商品はありません。

TRADING

DISTRIBUTION

CONSULTING

MARKETING

LOGISTICS

ENTERPRISE MANAGEMENT

PROJECT COORDINATION

EQUITY INVESTMENT

INSURANCE

http://www.itochu.co.jp

製品から、さまざまな仕組みやノウハウまで、
私たちは目に見えない商品もお届けしています。
国や産業という垣根も越えて、
用意している答えはいつでも、YES。
私たちは国際総合企業、ITOCHUです。

豊かさを担う責任。
伊藤忠商事株式会社

Visit our Internet site at http://www.itochu.co.jp

（財）日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第三八二号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成十年一月二十六日印刷 平成十年二月一日発行
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表 三四八一－二三六一
振替 〇〇一二〇－七－一〇二九三
編集兼発行人 中澤重夫
価格は登録金に含む